



第78号 昭和41年4月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

一般会計 2億6,386万2千円

郷土を緑に

緑は、あわただしい社会生活に
疲れた私たちの心に、いこいとう
るおいを与えてくれます。また、
植物の同化作用が、私たちの吸う
空気を新鮮なものにしており、緑
の樹木は私たちの生命ともいえま
す。

一本でも多くの木を植えて、山
も、まちも、家庭も、緑でいっば
いにしてみよう。

学校建築と道路の整備

財政難を克服して

総合的な開発を

41年度予算

昭和四十一年度の一般、特別両会計の予算など、十三議案を
審議する町議会第一回定例会は、三月十一日から五日間の会期
でひらかれました。

第一日は、議案を一括日程し、午後、町長の予算の説明があ
りました。

第三日は、午前中、一般質問、午後、卒台議員ほか十議員か
ら議会議員定数減少条例についての動議が提出され、そのあと
町職員の給与に関する条例の一部改正など十一議案を可決しま
した。

第三日は、自宅審議のため休会し、第四日は、一般会計予算
を審議し、第五日は、前日に続いて予算を審議し、これを可決
し、国民健康保険特別会計予算についての町長の説明と、これ
に対する審議を行ない、原案と可決しました。さらに、議
会議員定数減少条例について審議し、賛成多数でこれを可決、
卒台議員ほか七議員から提出された動議「靖国神社を国が護持
するよう法的措置を講ずることにする決議」を行ない、全日
程をおわりました（町長の一般会計予算説明は次のとおりです）

本年の第一回定例町
議会の開会にあたり、
昭和四十一年度予算案
を提出したのでありま
すが、本案におり込ま
れた重要施策について
そのあらましを申しあ
げます。

まず、予算の編成に
あたっては現行の諸制
度を前提として、国、
県などの施策に対応し
ながら、収支均衡の健

全財政をたてまえとして、むだを
はぶき、消費的な経費はできるだけ
おさえ、投資的な経費にふり向
けるよう、努力しました。

しかしながら、内外の経済情勢
は、決して楽観を許さないものが
あります。すなわち、政府では、

公債政策をとり、七千二百億圓に
及ぶ公債発行と、大幅な減税を行
なうことになり、これらの及ぼす
影響は、地方財政についてもきび
しいものがあります。これに対し

地方交付税率の引き上げ、臨時地

方財政特別交付金、特別事業債の
新設などの措置がとられていま
すが、決して十分なものというこ
とはできません。

これらの情勢のなかにあつて、
わが町も例外でなく、歳入面では
一般財源の増収はほとんど期待で
きず、国、県の支出金や、町債な
どによる状態であり、一方、歳
出面は、人件費の増大、物価の漸
高などが見込まれ財政硬直の不安
がでてきています。

本町は、昨年、合併十周年を迎
え、更に発展への建設期にはいり
町民みなさんの協力により、新
しい町づくりが力強く進められて
おり、これら諸難点を克服し、健
全財政を維持しながら、総合の開
発をめざして、行政を推進してま
いりたいと存じます。

国支出金の大幅増額

町民税は、減税

歳入予算のあらましについて、
申しあげます。

町税について

は、関係法案が
国会で審議中で
あり、かなりの
変動が予想され
ますが、現行法

によつて、三千
四百四十六万三
千圓を計上しま
した。町民税に

ついては、国の
減税にもなつ
て、更に大幅な

減額を余儀なくされ、その他の
諸税で若干の増額がある見込みで
すが、前年度より十七万一千圓の
減となつています。

臨時地方特別交付金とは、四十
一年度の地方財源減収対策として
交付されるものであり、第一種交
付金と、第二種交付金にわけら
れています。

第一種交付金は、たゞ消費税
の基準となつた。たゞはもと本数に
よつて計算され、第二種交付金は
普通交付税方式で配分されること
になつていますが、両方あわせて
三百萬圓を計上しました。

国、県の支出のうち、おもなも
のは、百里基地の関係による防音
装置付き羽生小学校の改築事業補
助の四千四百二十萬圓、玉造中学
校屋内運動場分の一千萬圓、玉川
小学校の老朽校舎改築事業分の四
百十六萬圓、農林漁業用灌漑施設
財源（身替り道路（略称、農免道
路）分の一千四百萬圓、荒瀬漁港
改修補助三百三十一萬五千圓、地

籍調査費補助、百四十六萬八千圓
などでありま。

その他の補助金、負担金などに
つきましては、できる限り、適確
に把握して計上しました。

中学校屋体と羽生、
玉川両小学校の建築

つきに、歳出予算のあらましを
申しあげます。
重点事業の第一は、義務教育施
設の整備でありま。

ご承知のとおり、隣接小川町に
設置されている自衛隊百里基地も
いよいよ本格的に訓練が行なわれ
る予定で、その際に発する爆音で
学校教育がいかじくしと阻害され
るため、防衛庁の補助により、羽
生小学校々舎を防音装置の鉄筋コ
ンクリート一階建て千三百七十平
方メートル、工費五千二百七十八
萬圓で建築する予定です。

つきに、玉造中学校の屋内運動
場の建築でありま。

玉造中学校は、教室、特別教室
など勉学の場合前年度をもつて一
応完成したのですが、雨天の際の
体育の場として、また、千人を越
す生徒の集合の場として、屋内運
動場鉄筋コンクリートづくり九百
四十四平方メートルを工費三千七
百八十六万三千圓で建設しようと
するものです。

玉川小学校は、校舎の老朽がは
げしく、これを解消するために、
鉄筋コンクリートづくり五百平方
メートルを、工費一千四百四十四
萬圓（二ページへつづく）



一般会計

歳入

町税 三四、四六三千元

町民税は、個人四四四、九八八千四百、昨年度より七十七万三千円の減

法人五十二万一千円、固定資産税は、一、六六三、四四四円、国有資産等所在地町村交付金三、七四七、七四七円、県自動車税二、四四四、九四九円、たばこ消費税八、二二二、二二二円、電気ガス税二、九四九、六六六円、木材取引税五、五五五、五五五円、旧法による税四、四四四、四四四円

臨時地方特別交付金

二、〇〇〇千元

地方交付税

七六、〇〇〇千元

分担金及び負担金 九四四千元
使用料手数料 二、六四四千元

母子センター入所料などの衛生使用料七、五五五、五五五円、戸籍謄抄本などの手数料七、三三三、三三三円、予防注射などの衛生手数料四、四四四、四四四円

万一千円、青年研修所使用料四、五五五、五五五円、となつています。

国庫支出金

六五、六八四千元
国庫負担金は、民生費一、五五五、五五五円、教育費一、五五五、五五五円、

うちわけ

予算の

環境衛生費は、二百五十五万五千円で、薬品代四十二万、(餅田町外)一町清掃組合への負担金二百四十万などが主なものです。

農林水産業費

四三、四〇七千元

農業委員会費、百七十七万七千円は、農業委員の報酬、旅費、需用費、農政活動推進本部などへの補助金その他となつています。

農業総務費は、八百四十二万五千円、職員の手当、共済費、薬品その他の需用費、病虫害防除の補助(百一十一万)などです。

農業振興費一千九百四十四万四千円は、農免道路の工事請負費一千五百七十六万円で主なもの、その他、用地購入費、農協合併のための補助金などが含まれてい

【農免道路】玉造諸井地内(県道石岡、潮来線接続)から、玉造中学校前、泉部、開拓道路を経て県立玉造工高前(町道シケタ・上山線接続)にいたる四、六六メートルを予定しています。

畜産振興費は、百八十五万五千円で、農産資金百五十万、補助金などです。

青年研修所費は、三十八万九千

育費五十万五千円、国庫補助金は、教育費五、九百三十三万、給費費四、一六六、九四九円、災害復旧費二十五万三千円、委託金は、総務費一、二二二、二二二円、民生費百三十三万二千円となつています。

歳出

議員会費 七、一四一、四九四円
議員の報酬四百六十一万七千円、議員の給料、手当、需用費、旅費などです。

総務費

一九、四九四、九四九円

職員の手当、共済費、負担金、補助金などの諸費は、百五十五万五千円、

広報紙発行などの、文書広報費は、五十二万三千円です。

財産管理費は、四十八万一千円、財政管理費は、二万九千円となつています。

負担金、補助金などの諸費は、百五十五万五千円、

納税組合役員報酬、納税奨励金、需用費などの賦課徴収費、百五十五万二千円となつています。

選挙管理委員会費は、一、二二二、二二二円、

選挙補てん債三、九百九十九万、学校建築のための教育債、千四百四十四万、農林水産業債、百五十万、土木債五、五五五、五五五円(農免道路分三百四十万)となつています。

万五千円で、県道石岡、潮来線改良への負担金、百八十八万四千円、負担金、補助金などが主なもの、橋梁維持費は、一、二六六、六六六円、住宅管理費は、一、二六六、六六六円、町営住宅の修繕費などです。

消防費

四、三〇五、五五五円

非常消防費、百六十二万三千円は、消防団員の報酬(八十九万四千円)、火災出動のときなどの旅費、需用費、ホース、ポンプ、シリンダーなどの備品購入費、退職金、報償金への負担金などが主なもの、

消防施設費、六十六万三千円は、貯水槽、火の見、器庫などの工事請負費です。

教育費

一一九、二六九、九四九円

教育委員会費十五万五千円は、教育委員の報酬、旅費などです。

事務局費は、三百七十四万四千円、職員の給料、手当、共済費、手当、需用費、負担金、補助金などです(小学校費)

学校管理費は、六百五十一万八千円、用務手、給食婦の給料、手当、校医などの報酬、修繕料などの需用費、校舎修繕の工事請負費、教材、教員の備品購入費などが含まれてい

教育振興費は、二百八十八万二千円で、義務教育教材費その他の補助金、給食補助、学用品その他の

一千円で、職員の給料、手当、共済費、需用費が主なもの、統計調査費は、三十八万七千円、監査委員費は、十萬三千円、

民生費 一四、七九二、二二二円
社会福祉協議会、民生委員協議会、老人クラブなどの補助金、負担金その他が含まれてい

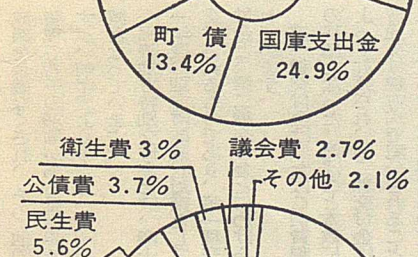
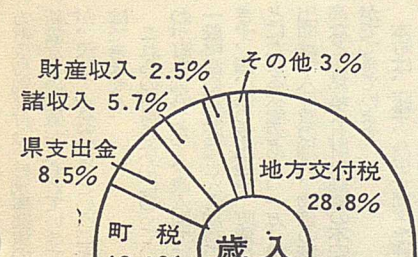
国民年金費は、一、九四九、六六六円、印紙購入代八百五十五万五千円、職員の給料、保険料納入奨励の報償費などです。

災害救助費は、一、二二二、二二二円、

衛生費 七、八三七、七七七円
保健衛生総務費は、職員の給料、俸給、手当、需用費など、三百一十六万四千円、予防費は、百七十三万二千円、需用費、委託料が主なもの、

(次ページへつづ)

主要地方道石岡、潮来線の改良事業は、本年度で完成の予定であり、同線の舗装工事は、千八百八十メートルが予想され、なお、同線の改良前の道路の中期舗装が行



(一ページから)
万七千円で建築の予定です。
第二は、道路の改良、舗装など整備充実をはかります。
農林漁業用振興油財源見送り道路事業として、一千八百四十四万を計上しましたが、この事業は、いわゆる農林漁業ガソリン税の見返り資金のなもので、総務費の九分の七が国庫補助で、九分の二が地元負担の形で実施されるものであり、有効職員六・五メートル、延長四千メートル以上という条件が必要とされ、これを三年間に工事を行なうものですが、本年は、初年度で三分の一の工程を予定いたしました。
また、小型ダンプカーを購入して機動性を持たせ、原材料費五百五十万円などを計上し、悪路の解消に努める所存であります。
主要地方道石岡、潮来線の改良事業は、本年度で完成の予定であり、同線の舗装工事は、千八百八十メートルが予想され、なお、同線の改良前の道路の中期舗装が行なわれる予定です、これらの県道改良関係負担金を、四百六十八万五千円見込んであります。
第三は、前年度見送られた荒廃漁港の改修を、五百五十万円で、本年に完成する予定であります。
第四は、第六年度にはいりませんが、国土調査法にもとづく地籍調査の実施であり、本年は、旧玉造地区の、主要地方道石岡、潮来線より東部地区六・五平方キロメートルを行なう予定です、約三百万円を計上いたしました。
そのほか、農業関係における病虫害防除費、自立経営農家対策費などがあります。
その他の諸事業経費につきましては、昨年度の実績を勘案しながら、効率化をはかり、それぞれの部門の事業計画にもとづいて計上したものであります。
以上、一般会計の予算のあらまを申しあげましたが、細部については、質疑の際、説明いたしますから、よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

国民健康保険特別会計

60,846千円

歳入

一三、六六七千円

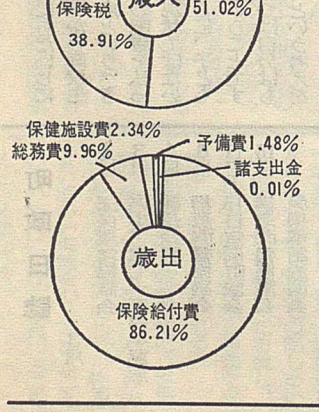
歳出

六、〇六三、三三三円

国民健康保険税 一三、六六七千円
国民健康保険税は、国民健康保険の中心となつていますが、最近の医療費の増加にともない、前年度より約一・五パーセントの増税となりました。
対象世帯、一千四百七十、被保険者数、一万一千五百五十八として平均、一世帯あたり九千九百六十円、一人あたり一千五百五十四円の負担となります。
使用料及び手数料 六千円
国庫支出金 三三、〇四二、二二二円
事務費、療養給付費などの国庫負担金、保健婦補助、助産費補助、財政調整交付金などの国庫補助金です。

国民健康保険特別会計の歳入の中心となつていますが、最近の医療費の増加にともない、前年度より約一・五パーセントの増税となりました。
対象世帯、一千四百七十、被保険者数、一万一千五百五十八として平均、一世帯あたり九千九百六十円、一人あたり一千五百五十四円の負担となります。
使用料及び手数料 六千円
国庫支出金 三三、〇四二、二二二円
事務費、療養給付費などの国庫負担金、保健婦補助、助産費補助、財政調整交付金などの国庫補助金です。

国民健康保険特別会計の歳入の中心となつていますが、最近の医療費の増加にともない、前年度より約一・五パーセントの増税となりました。
対象世帯、一千四百七十、被保険者数、一万一千五百五十八として平均、一世帯あたり九千九百六十円、一人あたり一千五百五十四円の負担となります。
使用料及び手数料 六千円
国庫支出金 三三、〇四二、二二二円
事務費、療養給付費などの国庫負担金、保健婦補助、助産費補助、財政調整交付金などの国庫補助金です。



商工会欄

昭和40年度の実績

昭和40年度の、玉造町商工会の実績は、次の通りです。

一、収支決算
①収入の部

經常収入 三、七四四、〇九八円
臨時収入 三、七三三、一九一円
繰越金 四〇、七五一円
合計 四、一五八、〇四〇円

②支出の部
経営改善普及事業費

一般事業費一、四〇一、一六〇円
管理費 七七〇、四一〇円
積立金 一〇〇、〇〇〇円
剰余金 二二一、六七八円

合計 四、一五八、〇四〇円

二、経営改善普及事業
①講習会、講演会

開催回数12回 46時間30分
対象人員 一八一名

②個別指導(専門指導員)
開催回数11回 79時間
対象人員 三二名

③経営指導員による相談指導(件)

金融 一四五 税務 三七
経理 三四 経営 一二四
労務 九 取引 一五
その他 六五
合計 五三三

④金融あつ旋
件数 一〇三件
貸付決定 八二件
貸付決定額 三三、一四〇千円

三、一般事業
展示会(産業文化祭)

招待会(筑波)
歌謡コンクール
珠算検定試験

一回
一回
一回
一回

カレンダー

の共同作成

一月十三日の理事会で、昭和四十一年のカレンダーは、共同作成することに決定しました。

この目的は、各事業所の経費の節減と、消費者家庭に対する近代的感覚の普及です。

細部については、会員各位に、追つてご通知しますから、個々の注文はとりやめていただきますようお願いいたします。

人事異動

(一)は旧職

庁内

総務課・庶務文書係長兼財政係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

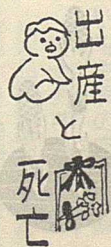
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男

総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男
総務課・庶務文書係長 小沼 昭男



出産と死亡

◇おめでた

赤ちゃんの名 父 続柄 部落

伊藤 一郎 勇二郎長男 竹の堀

平野 昌英 晴之 長男 羽生

西谷 和也 力造 長男 諸井

栗原 義勝 恒雄 長男 上宿

大和田清美 鴻 長女 里

谷田川広美 照雄 二女 泉

森作 信夫 和好 長男 捨木

梅原 孝雄 孝一 長男 藤井

仲田 和代 一男 長女 根古屋

小川 礼子 尚夫 二女 戸沢

滝ヶ崎 泉 英治 二女 加茂

小松崎 栄 稔 四男 浜

山口 明子 貞夫 長女 羽生

飯田 金夫 功一 男 小座山

伊藤 茂 義雄 一男 横須賀

◇おこやみ
田名 年令 部落
栗山 なみ 七九 横須賀
栗又吉之助 九〇 荒宿
高野 宗吉 八五 西谷
杉山 みの 八五 捨木
栗又 ハル 六六 荒宿
成島良右衛門 八一 上宿
高塚啓次郎 七七 浜
磯部庄衛門 七四 捨木
関口 留吉 七九 戸沢
滝崎源三郎 八〇 川向

農集電話の増設

農村集団自動電話が、三月三十一日をもつて、百六十八加入開通になりました。同時に既設の農集電話の番号に一部変更がありました。

部落別の追加加入者数は、つぎのとおりです。

(玉川地区) 荒宿4、
藤井10、根古屋2、西谷2、西運寺24
(手賀地区) 新田7、
竹の堀13、舟津5、宿2、新宿10、横須賀1、
小座山3

郵便振替料金の引き下げ

四月一日から、振替料金の振替などの料金や、払込書用紙の代金など、利用者へのサービス向上のため、つぎのとおり改正されました。

(一)は旧料金
①通常払込み 五百円以下の場合 二十円
五百円をこえ、千円以下の場合 五十円をこえ、千円以下の場合

通信記念は

郵政省では今から九十五年前の明治四年四月二日、東京・大阪間に、現在行なわれている郵便制度が、はじめて実施されたことを記念して、この四月二日を通信記念日と定めて、記念式典をはじめ、功労者の表彰、各種の週間行事を行ないます。

建設課へ 柳田よし (町民室)

中村邦雄 (新採)

町民室へ 飯島ふ (税務課)

中村タカ子 (総務課 石田義郎)

(新採)

保険衛生課へ 山口利男 (産業)

教育委員会事務局へ 田宮正三 (税務課) 飯島孝子 (新採)



発行所 玉造町役場 発行人 板本繁蔵

印刷所 新いばつ印刷局